



いばらきしりつぶんかざいしりょうかん

いばらきの 歴史を探ろう!

古墳
時代
編



かまたりくん



いすずちゃん



ひがしならくん

Ibaraki Municipal Cultural Properties Depository

茨木市立文化財資料館

いばらきの歴史



時代	西 暦	日 本	いばら き
古 墳 時 代	239年	倭の女王、卑弥呼が魏に使いを送る 前方後円墳が出現する 大和政権の成立	
	● 300		安威1号墳 紫金山古墳・將軍山古墳
	391年	倭の軍が朝鮮半島に進出して高句麗と戦う 日本列島で須恵器の生産がはじまる	安威0号墳
	● 400	倭の五王、宋に使いを送る	総持寺に古墳群が築かれる 安威・総持寺・郡にムラがつくられる
	450年頃	大仙古墳（日本一大きい古墳） （仁徳天皇陵） 土室（高槻市）でハニワが生産される	太田茶臼山古墳 （継体天皇陵） 太田に古墳群が築かれる
● 500	507年	継体大王即位	
	531年	継体大王没す 今城塚古墳 横穴式石室が普及する	南塚古墳
	538年	百済から仏教が伝来する	
	562年	任那の日本府がほろぶ	新屋に古墳群が築かれる 青松塚古墳 海北塚古墳・耳原古墳
	587年	蘇我馬子、物部守屋をたおす	
● 600	593年	聖徳太子、摂政となる	上寺山古墳
	600年	聖徳太子、隋に使いをおくる	
	645年	中大兄皇子、中臣鎌足ら大化の改新をおこなう	阿武山古墳・初田1号墳



古墳時代

編

いばらき市 遺跡の場所

遺跡マップ

古墳時代の集落

いばらきの古墳

- 1 あい 安威O・1号墳
- 2 し きんざん 紫金山古墳
- 3 しょうぐんやま 将軍山古墳
- 4 いしやま 石山古墳
- 5 おおだ ちょうすやま 太田茶臼山古墳
- 6 みなみづか 南塚古墳
- 7 せいしょうづか 青松塚古墳
- 8 かいほうづか 海北塚古墳
- 9 しょうぐんづか 将軍塚古墳
- 10 おおだ 太田古墳群
- 11 そうじし 総持寺古墳群
- 12 安威古墳群
- 13 将軍山古墳群
- 14 にい や 新屋古墳群
- 15 くわのはら 桑原古墳群
- 16 おさ が ぶち 長ヶ淵古墳群
- 17 しんりゅうじ 真龍寺古墳
- 18 はなすり 鼻摺古墳
- 19 みのはら 耳原古墳
- 20 ひょうじ やま 上寺山古墳
- 21 はつ た 初田1号墳
- 22 あぶ やま 阿武山古墳 (貴人の墓)

- A ふくい 福井遺跡
- B 安威遺跡
- C 太田遺跡
- D こおり 郡遺跡
- E 総持寺遺跡
- F ひがしな 東奈良遺跡
- G しゅくのしょう 宿久庄遺跡



古墳時代とは？

今からおよそ1,750年前、日本列島の各地で古墳がつくられるようになります。このときから、古墳が大きな意味をもたなくなる1,300年前くらいまでを古墳時代と呼びます。古墳時代は、その特色から大きく前期・中期・後期の3時期に分けられています。

この時代は、国家としての体制が徐々に確立していきました。また、渡来人^{とらいじん}によって様々な技術が国外から導入^{どうにゅう}されます。はた織り^おや土器づくり、鍛冶^{かじ}、土木・建築^{とくぼくけんちく}、さらには漢字^{かんじ}などが伝わったのも、この時代でした。



太田茶臼山古墳

古墳をつくっている様子（太田古墳群）



いばらきでも前期から古墳がつくられており、現在のところ、市内におよそ200基の古墳があったことがわかっていますよ。



いばらきで見学できる古墳



紫金山古墳（室山一丁目）



将軍塚古墳 横穴式石室
（西安威二丁目）



将軍山古墳 竖穴式石室（移築）
（西安威二丁目）

外からみる古墳
だけでなく、中
に入れる古墳も
あるんだよ！



耳原古墳（耳原三丁目）※現在は公開されておりません。

前期
3世紀中頃
▼
4世紀中頃

古墳のはじまり

3世紀中頃になると、日本列島の各地で古墳がつくられます。

三島地域で最初につくられた古墳は、高槻市にある安満宮山古墳^{あまみややま}です。それから少し遅れて、いばらきでも古墳がつけられます。

紫金山古墳と将軍山古墳^{せんぼうこうえん}です。どちらも全長110mほどの前方後円墳^{ばん}で、この地域をおさめた支配者のお墓^{しはいしや}だと考えられています。どのように葬^{ほうむ}られていたのか、2つの古墳から見てみましょう。

将軍山古墳の模型



将軍山古墳の調査のようす



竪穴式石室の模型

後円部の真ん中に人が葬^{ほうむ}られていたんだね。あと、古墳の周りには円筒八二ツが並べられていたこともわかるね。





竖穴式石室（将軍山古墳）

たて あな しき せき しつ
竖穴式石室

人を葬る施設です。亡くなった人を上からいれるため、このような名前がついています。

石を途中まで積んでから、儀式（葬式）をおこないます。その後、上まで石を積んで、天井石でおおいます。

わあ～、
トンネルみたい
だね～！



壁の石には、
結晶片岩という
徳島県でとれた
石が使われているんだ。



副葬品

ほうむ
葬られた人ととも
しな じな
におさめられた品々
です。

紫金山古墳では青
どう
銅でつくられた鏡、
大量の鉄製の道具が
見つかっています。

けんのりよくしゃ
当時の権力者の力
をうかがうことがで
きます。



副葬された品々（紫金山古墳） 写真提供：京都大学文学部考古学研究室



色んな種類があるね。
当時、鏡や鉄製の道具は
貴重だったんだ。



剣・刀・槍(やり)



鍬(やじり)



斧(おの)・手斧



鋤(もり)



文様のある貝製の腕輪

写真提供：京都大学文学部考古学研究室

※これら紫金山古墳の出土品は、大阪府立近つ飛鳥博物館に
展示されています。

又鍬(またぐわ)・鍬鋤先(くわすきさき)

写真提供2～6・現品保管：大阪府立近つ飛鳥博物館
所蔵：京都大学文学部考古学研究室

中 期
4 世紀後半
▼
5 世紀末

三島最大の古墳

古墳時代のなかでも、とりわけ中期は、日本列島の各地で巨大な古墳がつくられました。日本で一番大きい大仙古墳（仁徳天皇陵）^{だいせん にんとくてんのうりょう}がつくられたのも、この時期です。

三島地域最大の古墳である太田茶臼山古墳（継体天皇陵）^{けいたいてんのうりょう}も、この時期に築られました。太田茶臼山古墳のまわりは、およそ幅30mの濠^{ほり}がとり囲んでいます。前方部の南側には平行して旧山陽道^{さんよう どう}がとおっていました。

継体大王は6世紀前半に亡くなったとされ、古墳がつくられた時期と異なっています。
（※継体天皇陵などの陵墓は宮内庁が管理をしています。）



太田茶臼山古墳（継体天皇陵）

わぁ～、すごい大きな古墳だね。
全長（写真では森の長さ）が226mあるのも、
なっとく！





円筒ハニワ（太田茶臼山古墳）



えん とう

円筒ハニワ

太田茶臼山古墳（継体天皇陵）の濠のすぐ外側を発掘調査したときに、見つかった円筒ハニワです。

このようなハニワが、濠の外側の堤に整然と並べられ、古墳を囲んでいたことがわかっています。

濠の外にもハニワが並んでいたということは、現在の見た目以上に大きかったんですね。



太田古墳群

太田茶臼山古墳（継体天皇陵）の南にある古墳群です。

墳丘は後世に壊されていて、墳丘の周りの溝だけが見つかります。

このような「埋没古墳」が数十基あることがわかっています。



太田古墳群（埋没古墳）

古墳は、地表の下から見つかる場合もあるんだね！



太田茶臼山古墳と太田古墳群



太田茶臼山古墳に
向かって北へまっす
ぐのびる石敷き

この石敷きは、幅が
約6mもあるんだ！
ひとつひとつの石は
5～20センチもあ
るんだよ。
でも、なぜ石を敷い
たか不明なんだ！

太田茶臼山古墳から、南を見下ろす位置にある太田古
墳群は、太田茶臼山古墳とほとんど同じ時期からつくら
れはじめました。

巫女（みこ）のかたちをしたハニワをはじめ、馬・鶏・家
などのいろんなかたちのハニワが発見されました。

にわとり



バラバラになった
ハニワをくっつ
けたら、ハイ、
出来上がり！



太田古墳群のハニワたち

継体大王を支えた人々

5世紀の終わり頃、国内は大きく乱れました。このようななか、大王として迎えられたのが、北陸南部から琵琶湖周辺に勢力のあった継体大王です。

継体大王が葬られた「三嶋藍野陵」は、私たちが住んでいる三島地域にあったと伝えられています。いばらきの古墳である南塚古墳、青松塚古墳、海北塚古墳はハニワや副葬品から、継体大王を支えた人物やその子孫のお墓と考えられています。



横穴式石室（青松塚古墳）



横穴式石室（海北塚古墳）



南塚古墳出土品

写真提供：高槻市立今城塚古代歴史館
現品保管：大阪府立近つ飛鳥博物館
現品所蔵：京都大学文学部考古学研究室



うわ～、
お祭りみたい。
踊っているよ！



伝) 海北塚古墳出土品



この時期になると、横から埋葬する人を入れることができる施設になるんだね。これだと、後からでも人を埋葬することができるね！



古墳時代から古代国家へ

どんどん^{よこあなしき}横穴式石室^{せきしつ}に使う石が大きくなっていきます。
 さらに、仏教が伝わってお寺でよく使われるレンガ^{ぶっきょう}（塙^{せん}）
 も古墳の石室に使われています。



横穴式石室（耳原古墳）



外のひかりが小さくみえるよ！
(玄室からの入口ーせん道部)



壁の石はものすごく大きいよ！
(ひつぎを置く部屋-玄室)

家形石棺（耳原古墳）



家のかたちをした石のひつぎ。
つくるのが、たいへんそう！

※平成18年高槻市立しろあと歴史館 秋季特別展 ▶
『三島古墳群の成立』図4「三島地域の古墳編年」
を一部加除筆

道跡マップ
新屋古墳群（西福井）



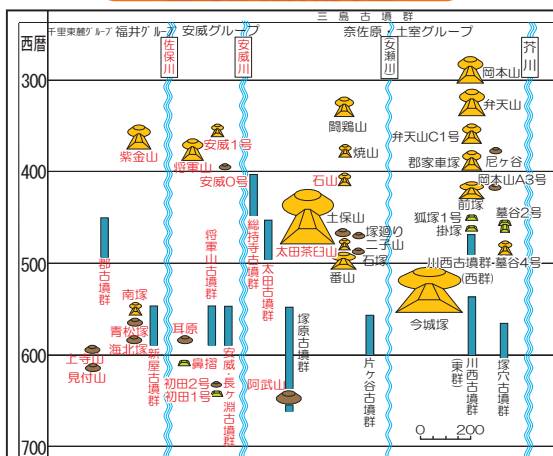
川をはさんだ西福井と山手台には、
阿武山古墳と同じようにレンガ(塼)
をつかった古墳があるんだ！

初田1号墳(山手台)のレンガ(磚)^{せん}



写真提供：大阪府立近つ飛鳥博物館
所蔵：大阪府教育委員会

三島古墳群編年図

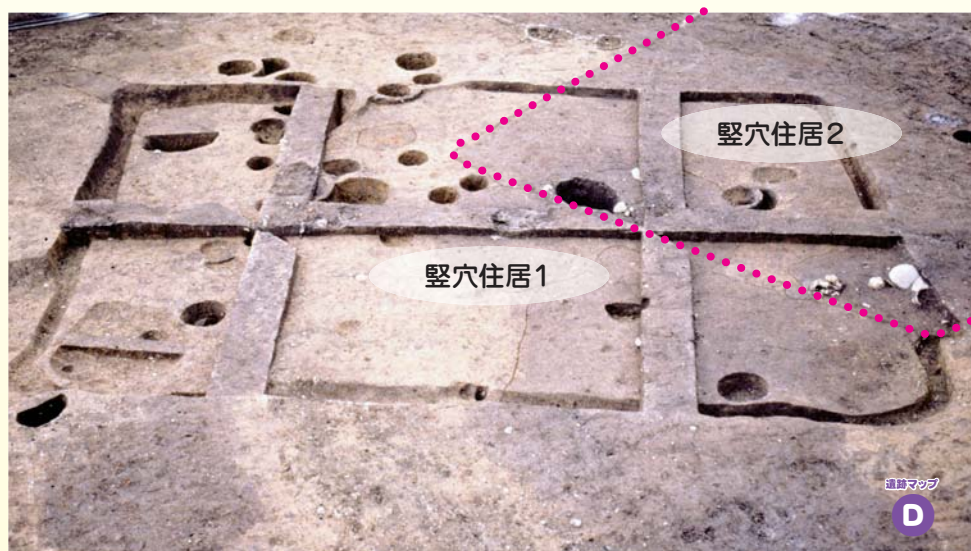


人々の生活

古墳時代の人々は、弥生時代と同じく、^{たて あな} 竪穴住居や^{ほったてはしらたてもの} 掘立柱建物を建てて、そこで生活をしていました。

ここでは、いばらきの^{こおり} 郡遺跡で見つかった竪穴住居を紹介します。写真には合計2棟の竪穴住居が写っています。竪穴住居1が新しく作られたもので、竪穴住居2を壊して建てられました。

住居1の床面には、住居2の黒っぽい土をした、四角いかたちがはっきりみえます。



竪穴住居群（郡遺跡）

これらの竪穴住居は、^{はたけ だ} 畑田小学校の東にある「生涯学習センターきらめき」の発掘調査で見つかりました。竪穴住居からは、^{は じ き} 土師器や^{す え き} 須恵器とよぶ、当時の食器類や糸をつむぐ^{ぼう すい しゃ} 紡錘車などが見つかりましたよ。私たちが住んでいる近くでも、見つかるかもしれませんね！



埴輪 (ハニワ)

いばらきで見つかったハニワの多くは、高槻市土室にある新池ハニワ製作遺跡でつくられました。この時期のハニワづくりは窯とロクロかまを使うなど朝鮮半島から伝わった技術も使われました。



太田茶臼山古墳にかざるハニワを窯で焼くようす。



太田の
ハニワたち

太田茶臼山古墳には、およそ7,000本も円筒ハニワが使われたんだよ!



須恵器 (すえき)

須恵器は、ロクロをつかうこと、窯で焼くことなど、それまでの土器かまとはつくり方に大きな違いがあります。

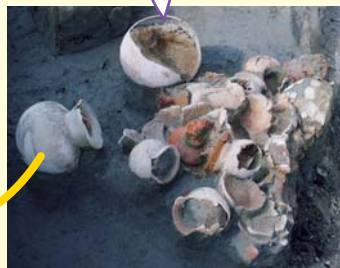
これらの技術も、4世紀末に朝鮮半島から伝わってきたものです。

それまでの土器とはちがい、かたい焼き物を大量につくることができるようになりました。

全部、ねずみ色をしているのは、窯で焼いたからなんだ。



まとめて
出土した土器たち



総持寺遺跡(集落) 出土の甕

キャラクター紹介



● いすずちゃん
いばらき生まれ
のおひめさま。
めずらしいもの
や新しい発見が
大好き。



● たまくしひめ
いすずちゃんのお母さん。
怒ると大雨をふらせる。

● みぞくいみみのかみ
いすずちゃんのおじいさん。
村の長老。



● かまたりくん
いばらきを愛す
る男の子。とて
も物知り。趣味
は日本の未来を
考えること。



● ひがしならくん
元気な弥生人の男の子。
ごはん（お米）を食べ
るのが大好き。銅たく
製作工房の見習い。

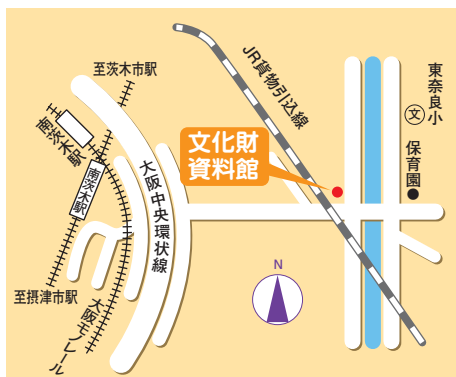
利用案内

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 毎週火曜日（その日が祝日の場合を除く。）
祝日の翌日（その日が日曜日の場合を除く。）
12月29日～翌年1月3日

入館料 無 料

お 願 い 他の見学者に迷惑のかからないように
静かにご覧ください。



茨木市立文化財資料館

〒567-0861

茨木市東奈良三丁目12番18号

電話 (072) 634-3433

FAX (072) 637-4745

市ホームページ

<http://www.city.ibaraki.osaka.jp>

阪急南茨木駅下車東へ300m

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



このパンフレットは5,000部作成し、1部あたりの単価は55円です。